

# 椎の苗木通信



夢・力・花いっぱい

木城町立木城中学校

Phone 0983-32-2028

Fax 0983-32-4191

木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり

(木城町教育大綱の基本理念)

## 家庭教育学級 しめ縄作り

家庭教育学級でしめ縄作りを 12 月 19 日(月)本校の技術室で開催しました。高城の杉尾達郎さん、川南町在住の杉田計彦さんが講師としてご指導していただきました。参加された保護者は 8 名でしたが、和気あいあいとして楽しく製作をしていました。



縄の結び方が最初は難しかったですが、少しずつ形になっていき、個性溢れるしめ縄を作ることができました。貴重な藁や細かな材料を準備していただいたり、丁寧にご指導していただいたり、とても有意義な時間でした。

杉尾さん、杉田さんに厚く御礼を申し上げます。

## 2 学期終業式での生徒発表

12 月 22 日(木) 第 2 学期終業式で 4 名の生徒が意見発表をしました。

### #1 1 年生代表 中武 凜さん

私は、後期の学級委員長になりました。学級で

は、教科によって授業中の私語がなくなること、休み時間の過ごし方が悪いことがあるので改善しようと思いました。昼休みに廊下を走り回る人がいなくなったことは良かったと思います。

3 学期に私は、校則をしっかり守ること、忘れ物をしないこと、先生方の話をよく聞くことを目標に悔いの残らない毎日を過ごしていきたいと思っています。

### #2 2 年生代表 海野 雄幹くん

私は学級委員長になりましたが、最初は周りの目を気にしていたので、自分自身を変えようと思いました。2泊3日の沖縄修学旅行の民泊を通して貴重な体験をさせていただき、自分自身の考え方が変わりました。

3 学期は、学級の向上を目指して学級委員長としての務めを意識的に取り組んでいきたいと思っています。

### #3 3 年生代表 白坂 楓夏さん

2 学期は受験に向けた勉強がうまくはかどらなかったことが多くありました。まずは、冬休みに、苦手な教科や分野の復習を中心に取り組み、受験の壁を乗り越えられるように、毎日を大切に過ごしていきます。

3 年生全員で、この学校を笑顔で卒業できるよう努力していきたいと思っています。

### #4 生徒会役員代表 久家 涼輔くん

生徒会保体・給食副委員長で学んだことを生かして、2 学期後半から生徒会書記として、積極的に提案や発表に取り組んでいます。今後は、私の生徒会選挙での公約である、ボランティアに生徒全員の積極的な参加を目標に努力していきたいと思ひます。

また、ボランティア活動は大人になる上で必要だと思ひます。大人になっても社会に貢献できる木城中生になってくれればと思ひます。

### ソフトテニス九州大会

九州ジュニア選抜インドアソフトテニス大会が熊本市の熊本県民総合運動公園メインテニスコート(人口芝)で開催され、松尾礼奈さん、平木彩夏さんが出場しました。10:20am に 1 回戦があり、熊本県の不知火中学校と対戦し 4-0 で勝利しました。続いて、2 回戦は鹿児島県の国分中学校とで 4-1 で勝利しました。3 回戦は佐賀県の大野原中学校とで 4-2 で勝利しました。4 回戦は沖縄県の川平中学校とで 4-3 で勝利しました。5 回戦は佐賀県の小城中学校とで、残念ながら 3-4 で敗退でしたが、3 位となり、表彰状と素敵なメダルが 2 人に授与されました。

とても輝かしい成果を収めました。これからのソフトテニス部の活躍を期待します



### 校長 雑感

## 命の有り難さ

木村<sup>もとむら</sup>資生 (1924~1994) という科学者を知っていますか? 知らない人がほとんどだと思ひますが、新しい進化論を提唱した遺伝学者で、「あと 5 年長生きしていたらノーベル賞」と言われていた人でもあります。



木村資生は、愛知県生まれで、大学で植物学を学んだ後、遺伝学の研究者となり、1968 年、『分子進化の中立説』を発表しました。この木村の学説は、当時の一般的なダーウィン進化論の考え方に反するとして、国際的な大論争を巻き起こすことになりました。

しかし、後の遺伝子学の進歩によって、木村の学説の正しさが認められるようになり、その研究は国内外で高く評価されました。そして、1992 年には日本人として初めて英国王立協会からダーウィン・メダルを受けました。

ダーウィンの進化論は、突然変異のうち、生きていくのに有利な変化が残っていき、進化するという考え方です。一方、木村の『中立説』では、突然変異は、有利なものだけではなく、有害でさえなければその変化が残っていき進化するというものです。

要するに、箸にも棒にもかからないようなものでも、遺伝子に残っていて、いざという時(地球環境が激変したとき)などに、役にたつという考え方なのです。

木村の言葉に「1 つの命が誕生するのは、1 億円の宝くじが 100 万回連続で当たるのと同じくらいの確率なんですよ。」というものがあります。一つの命は、それほど稀有で、有り難く、とんでもなくかけがえのないものだという事です。

